

ご あ い さ つ

福島県公立小中学校事務研究会会長 尾又芳行

この度、令和6年度総会におきまして福島県公立小中学校事務研究会会長を再任させていただくこととなりました。新役員一同これまでよりさらに学校事務職員の資質向上と研修・研究に努める所存であります。会員の皆様におかれましては、福島県の子どもたちの教育事務をつかさどる立場でご協力をよろしくお願いいたします。

さて、現在本会が推進している第五次長期研修計画も今年を含めて三年足らずとなりました。この間、コロナ禍による行動制限や急速な世代交代など、本会にとってかつて経験したことのない状況が何年も続きましたが、全国で耳にする研究団体の縮小や維持存続について、本会はほとんど影響を受けず、会員の意識向上が持続している状況であります。これは県内15支部からなる各組織の不断の努力と、会員一人一人が学校事務職員の職務に真摯に向かい合い自己研鑽に貪欲な追求をしているからであり、本会を運営する側として大変心強いかぎりであります。

研修に目を向けますと、学校事務職員の体系的な研修の一つとして、新任主任主査を対象とした「学校事務の共同・連携実施に係る推進協議会」が県義務教育課主管で再開されました。本会からも講師を派遣するなど、任命権者と足並みをそろえて学校事務職員の資質向上とリーダーの育成に寄与しております。特に学校教育を理解しつつ行政的な視点を持ち合わせて業務遂行しなければならない私たちにとって、学校事務職員に特化した体系的な研修・研究は、今後益々その重要性が高まってきます。本会では、学校事務職員の専門性が十分に発揮されることへの期待や、職務段階と経験年数による標準的な職務を提示するため、独自に「福島県公立小中学校事務職員の標準的職務及び資質向上に係る育成指標」を作成いたしました。他県の学校事務の標準的職務や、キャリア形成に向けた考え方を参考に取り入れて提示いたしましたので、各支部において十分にご活用くださいますようお願い申し上げます。

本会も世代交代が進み、研修会のたびに若い力を感じるようになりました。私は福島県の学校事務職員が長年積み重ねた成果を大切にしながらも、新たな世代がキャリア形成の基に活躍できる舞台も作っていききたいと思います。福島ならではの教育、福島ならではの学校事務を全会員で共有し、成功を共に喜び、失敗を共に糧とする研究団体を目指してまいります。どうぞ皆様のお力添えをいただけますよう心からお願い申し上げます。